

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	937	1001	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	19	22	ヘルパンギーナ	3	1
咽頭結膜熱	22	20	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	6	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	101	122	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	807	802	流行性角結膜炎(はやり目)	16	13
水痘	90	121	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	7	12	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑(りんご病)	0	1	マイコプラズマ肺炎	3	1
突発性発しん	41	38	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- インフルエンザは、報告数 937件(前週報告数 1001件)と減少。地区別では、人吉、菊池、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の176件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 807件(前週報告数 802件)とわずかに増加。地区別では、菊池、有明、山鹿に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の134件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数101件(前週 122件)と減少。地区別では、菊池、天草、熊本に多く報告がみられます。年齢別では 5歳の 19件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	239	6	9	37	196	29	1		13			5		14		1	1	
山鹿保健所	14				48	4			1				*	*				
菊池保健所	159	1	11	28	177	8			9		1							
阿蘇保健所	15				10								*	*				
御船保健所	17			1	13								*	*				
八代保健所	129	1	2	7	67	14			4									
水俣保健所	10			2	8	5			2				*	*				
人吉保健所	120	9			23	6			1				*	*				
有明保健所	64			3	126	17	6		5					1				1
宇城保健所	116	2		7	71	7			1				*	*				
天草保健所	54			16	68				5		2	1		1				1
計	937	19	22	101	807	90	7	0	41	0	3	6	0	16	0	1	3	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5カ月	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	937		5	30	29	34	60	74	101	85	66	70	176	42	26	54	38	14	17	12	4
小児科定点年齢	合計	0～5カ月	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	19	4	8	3	3	1															
咽頭結膜熱	22		4	3	5	3	4	1		1		1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	101			3	11	9	14	19	13	4	8	7	10		3						
感染性胃腸炎	807	5	60	134	90	80	66	62	62	34	37	30	75	17	55						
水痘	90	1	7	25	15	15	7	9	5	3	3										
手足口病	7		3	2	1	1															
伝染性紅斑	0								1												
突発性発しん	41	1	18	18	3				1												
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	3			1	1		1														
流行性耳下腺炎	6									4	1	1									
眼科定点年齢区分	合計	0～5カ月	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	16				2								1		3	6	1			2	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1		1																		
マイコプラズマ肺炎	3			2									1								
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ: 菊池、宇城
- 感染性胃腸炎: 有明、山鹿、菊池、宇城
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 菊池、天草

風しん患者
全国で急増!



【風しんの患者が全国で急増しています。】

県内でも4週連続で発生し、今週の報告は4件、今年の累計報告数は10件で、1月から3ヶ月弱で既に昨年の報告数(5件)の2倍です。うち7件は20代～50代の男性です。2～3週間の潜伏期を経て、発疹、発熱、リンパ節の腫れなどがみられますが、感染しても明らかな症状が出ない場合もあります。子どもでは比較的軽いですが、まれに脳炎などの合併症が起こることがあります。また、大人が感染すると症状が重くなることが多いと言われてます。

●妊婦は注意!

妊娠初期に風しんにかかると、赤ちゃんの目や耳や心臓に障害をきたす可能性があります。風しんにかかったら妊婦や、妊娠しているかもしれない人に近づかないようにしましょう。

●予防接種を受けましょう

定期予防接種の対象者は、必ず予防接種を受けましょう。特に第3期、第4期は今月いっぱいでは接種期間が終了します。時期を過ぎると接種料金は自己負担になります。まだの方は早めに接種してください。対象者・第1期: 生後12月から24月・第2期: 小学校就学前1年間・第3期: 中学1年生相当・第4期: 高校3年生相当 また、妊婦に感染しないために、妊娠希望者や妊娠の可能性の高い方、妊婦の夫や子どもさん等は、任意で予防接種を受けることを検討しましょう。(妊娠中は風しんの予防接種を受けることはできません。)